

語り合いのシンポジオン交流会2017

第16回 実務者・教育者・研究者の討議の集い2017 in 広島

テーマ：ノンテーマ

主催 シンポジオン世話人会
討議の集い世話人会

目次	1. 交流会、討議の集い、会場風景	1
	2. 寄稿 おしゃべりのススメ	4
	3. 寄稿 福祉について	6

End=6

【1】 交流会

名称：学生による語り合いのシボジボ交流会

日時：2017年9月1日(金)18:30~20:00

会場：向洋駅付近の居酒屋「金太郎」

様子：広島工大での午後のシンポジオン語り合いが20数名と大いに賑わいました。この勢いで、夜の部の交流会と同時開催の討議の集いを広島駅から東へ二番目の駅である向洋駅付近の居酒屋で実施いたしました。今回夜の部では、市民の方が1名参加いただき、午後のシボジボで注目されたアニメの話で大いに盛り上がりました。



【2】 討議の集い

本企画については、今年もまた懇親会の席上での集いとなり、大いに討議することになりました。今回は、参加者が少ないながらも、アニメの話を含めて、街づくり、田舎や都会の在り方論議に花を咲かせました。

【3】 おわりに

シボジボの方は盛会が続いている。嬉しい限りです。しかしながら、討議の集いには、参加者が昨年より急激に少なくなりました。学士諸君の研究室単位で懇親会をするようになってからなのかもしれません。それでも、参加いただいた学生さん、市民の方には感謝してもきれないほどです。

今回は9月4日(火)~6日(木)、東北大学にて大会が開催されます。では皆さん、来年は東北でお会いしましょう。

【参考】 シボジボ

学生による語り合いのシンポジオンの写真



1. はじめに

最近、おしゃべりをする機会がどんどん減っています。おしゃべりが健康にもいいのは分かりきっているとはいえ、いざおしゃべりということになると、案外考えてしまいがちです。

ではどうします？ おしゃべりはやはり「おしゃべりの場」あつてのものでは。昔でいえば井戸端ですね。

そこで皆さん、どんな場所でも井戸端にして、おしゃべりを楽しむ習慣をつくってみませんか。そして、上市町が笑いを含めておしゃべりで包まれるようにしたいものです。

なお、ここではおしゃべりは会話ではなく、コミュニケーションともせず、口から自然と出る思い(言葉の呼吸)というものとします。

◆ ストレス:

- ・コミュニケーションや人生の勉強ではありません。
- ・おしゃべりを楽しむ雰囲気と場づくりに着目です。

◆構成:おしゃべり居場所

1. はじめに
2. 昔はどうだった:
3. 現代では
4. おしゃべりには
5. おしゃべり居場所、まとまった場所
6. おしゃべりのポイント
7. おしゃべり居場所、探してみれど
8. おしゃべり居場所、賑わっています
 - (1) 朝活 朝食をみんなで食べて歓談
 - (2) 街カフェ 昼にコーヒーを飲みながら歓談
9. どうする
10. まとめ

2. 昔はどうだった:おしゃべりの場はあちこちに

(1)場所

家族で、ご近所で、町内で、校区で
清掃で、新年お参りで、お祭りで、寄り合いで
買い物(お店)で、病院待合室で、床屋・美容室、等



病院待合室

村の寄り合い

(2)今は少なし

サークル:朝活、街カフェ:参加者が自由に話せる。
行政系:福祉施設等、他:

昔の形態もあり。

(3)今の勉強の場:勉強だけ、交流は無い。町民学園

3. 現代では

- (1)おしゃべりの必要性を感じなくなる
- (2)今はあまりしゃべらなくてよい世の中
- (3)出かけているようで出かけていない。交流も少なし

4. おしゃべりには

要件:人、対象や思い、場所

- (1)人:自と他:対人、小集団、大集団、
- (2)対象:・身の回りの事:家、子ども、自分たち
・地域まで広げて

おしゃべり:まとまった時間と場所にて
ゆとりによる思いのキャッチボール

(3)場:家庭:生活、人は会話でつながる。

(4)効用:おしゃべりは笑いとセット

おしゃべり→五感・五体がフル活動のもの

5. おしゃべり居場所、まとまった場

(1)居場所づくり

今は場がない →ならば場づくりから →居場所
→どこにでもあり。→朝活や街カフェも、家庭も

立話も(道でも店内でも)

条件・ゆとりがある場所(居ること)・自由さ

(2)おしゃべり居場所の様子

- ・集まってしゃべる。仲間をつながる(いわば交流)
- ・そこに行けばいつでも(誰かがいて)おしゃべり可。

6. おしゃべりのポイント

- ・身近なこと:衣食住が主、他は、
子供、家族・家庭、幸せ、健康、生きがい、
学校、地域、ふるさと、
- ・堅い話:別の場所で。

7. おしゃべり居場所、探してみれど

(1)ショッピング系:カミール、パル いつも閑散。壁設置など工夫要



カミールとパルの休息所

- (2) 飲食系
- ・喫茶店、
 - ・居酒屋、
 - ・専門食屋



居酒屋で懇親

- (3) 公的場所
- ・図書館
 - ・公民館
 - ・勉強会
 - ・公園、等
- (4) 行事



上市ふるさと祭り



上3枚：朝活の会場風景、講師 下2枚：アフターク

8. おしゃべり居場所、ただいま賑わっています

有志によりフワフワな交流の場づくり→朝活、街カフェ

- (1) 朝活の趣旨：自宅と職場の往復は味気ないという方、出勤前の朝の一時間、仲間と一緒に交流を。
- (2) 街カフェの趣旨：皆さん気ままにおしゃべりを。暮らし、趣味や学び等一緒に考えたいこと持ち寄って。

8.1 朝活 朝食をとりながら

- (1) 概要 実施日時：月二回の朝1時間、地元喫茶店
実施：講師を募りテーマを決め当日話題提供。

(講師は原則朝活参加者、著名東京人等は呼ばず)

話題提供後、アフターク、そしておしゃべり

参加者 人数：16人前後、時には40人程、町内半分

テーマ：自分磨き、人生楽しみ、夢叶え、幸せ、おしゃべり、色づかい、女優、健康法、ダンス、演奏(民謡、琴)、マツコ、コミュニケーション技術、ものの見方、視覚・感情、仕事の進め方、接遇、立山、自然、上市風土、植栽、桜アノミの世界、伝統、上市歴史、公民館、留学生談、若社長談、障害者問題、福祉問題、介護問題、鬱、医療、保険、

(2) 様相

- ・各自の職業柄で話題提供。趣味が高じて話題提供。情報交換や情報収集の目的の人なし。売込み禁止。
- ・若さゆえの悶々とした語もあり。
- ・自分の心情を語り皆さんが共感。共感も楽しみ。人への押し付けは全くない。著名講師による押し付け講演とはちがう。

(3) 朝活でシルバーは

- ・若者に胸を貸す。見聞をひろめる。
- ・講演の世界に入って楽しめる
- ・若者とも気負いなくおしゃべり。若者も親父という感

8.2 街カフェ 昼コーヒーを

飲みながらおしゃべり

(1) 概要

実施日時：月一回昼、地元公民館



街カフェでおしゃべり

実施要領：参加者全員が話題を持ち寄って提供。

参加者：人数4-5人、多いとき10人、シルバーのみ。

テーマ：上市歴史、大岩歴史、大岩街道、黒川、眼目、江戸時代生活、縄文の生活、古代史、神社歴史、種の山、立山信仰、劔岳、夫婦別姓、米騒動、農村奮戦記、蕎麦、尺八(演奏有)、布橋灌頂絵

(3) 街カフェでシルバーは 何の気兼ねも遠慮もなし。

9. どうする

おしゃべり居場所を作るには、何といても集まれるところに定期的集まるのが一番です。お茶飲み会の場であっても、ショッピングセンター休憩所であっても、短くても長くても、おしゃべりが始まります。また公民館のようにまとまった場所であれば、話題の持ち寄りによりじっくりとおしゃべりできます。もちろん、立ち話もどしどしとしましょう。

10. まとめ

人は場を作り、場は人を作ります(場はおしゃべりを応援します)。よい場を作ることは、人をおもんばかり人格尊重そのものですから、話し方に気を配らなくてもごく自然(自然体)がおしゃべりとなって、皆さんとともに楽しめます。皆さんはそんな味を自身からしみ出せます。

3. 寄稿文

福祉について

学生（大学院生）